

# 水俣・芦北地域戦略プラットフォーム 第26回地域戦略検討会のお知らせ

(第41回課題検討会)

## 自然産業に つながる人々 4

— 捕る人・つなぐ人・食べる人 —



鴨川さん 『水俣食べる通信』より

これからの水俣・芦北地域のあり方を展望する「プラットフォーム」課題検討会。今回のゲストは、蛸漁師さんの鴨川強巳さん、魚屋さんの中村雄幸さん、『水俣食べる通信』編集長の諸橋賢一さんです。

「タコのおかげで子どもたちが育てることができたし、今もタコに生かしてもらっとる。これからも命ある限り、水俣の海に出て、タコば捕り続けるよ」(『水俣食べる通信』より)

水俣の「捕る人」「つなぐ人」「食べる人」から、それぞれのストーリーと思いを伺いながら、生産—流通—消費のサイクルと水俣地域社会のありようについて、われわれ「食べる人」の立場から自省的に考えていきたいと思います。どうぞご参加ください。

話題提供 **鴨川強巳さん** 蛸漁師

**中村雄幸さん** 鮮魚商

**諸橋賢一さん** 水俣食べる通信

コーディネート **藤本延啓** 熊本学園大学 社会福祉学部福祉環境学科

日時 2017年 **1月16日**(月) **18:30~20:30**

場所 **熊本学園大学 水俣学現地研究センター**

水俣市浜町2-7-13(水俣市公民館裏、婦人会館向かい) TEL・FAX 0966-63-5030

「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」世話人会・事務局  
熊本学園大学水俣学研究センター 藤本延啓

### 「水俣・芦北地域戦略プラットフォーム」とは

「負の遺産」としての水俣病事件をベースに、人間としての生き方、日々の暮らし、地域社会(教育、環境、福祉、経済、政治など)のあり様を問い直そうとする市民、NPO、研究者、民間事業者、行政職員など多様な関係者の“出会いの場、学習の場、討議の場”であり、また、“新たな価値(生活文化)を創造する「場」として位置づけられた舞台(プラットフォーム)です。